



第23回 東京都市大学横浜祭

梅雨入りを乗り越え、参加者全員で横浜祭に「はばたき」を

2019年度 東京都市大学横浜祭実行委員会 会長
メディア情報学部 情報システム学科3年 齋藤 大輔

6月8日(土)、6月9日(日)に第23回東京都市大学横浜祭が横浜キャンパスにて開催されました。残念ながら、開催前日に梅雨入りしてしまい、天気は雨が降ったりやんだり、とても中途半端なものになってしまいましたが、1万人を超える方々にご来場いただき、無事成功を収めることができました。

今年度は横浜祭のテーマを「飛翔 ―はばたき―」と掲げ活動してまいりました。はばたきという言葉には、単に飛ぶという意味はもちろん、抽象的に捉えて、「現状よりもさらなる高みへ」という意味や、「夢や未来に向かってはばたく」などという意味を込めています。

横浜祭参加者や、来場者の方々が一丸となって、更に良い横浜祭を作っていく。そんな学園祭を目指しました。

今年度は、「集客人数を伸ばす」ことよりも参加者やご来場者の方々にとっての「満足度を向上させる」ということを目標に開催いたしました。例年、横浜祭にご来場いただく年齢層は、小学生や小さいお子さんが多く、そこをターゲットにした企画も用意していました。

その結果として「トシタイモンスター」という企画は、常に子どもたちで賑わっていました。

また、横浜祭の特色でもある「地域・環境・情報」のうち、「地域」を意識したものでは、ステージに近隣高校のパフォーマンスグループに参加していただき、学内生や来場者が一体となって盛り上がっていました。

最後になりましたが、横浜祭が無事に成功を収めることができましたのも常日頃からご支援、ご協力賜りました皆様のお力添えがあってからこそだと思っております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

来年の第24回横浜祭にもぜひお越しください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。



横浜祭パンフレット